

自主事業報告書

事業名 新潟市バイオリサーチセンター

(1) 実施状況（実施期間）

実施期間 2023年4月1日～2024年3月31日

1. 企業の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその成果

(主な事業内容)

① 産官学連携推進事業

○ 包括連携事業

新潟薬科大学との包括連携協定のもと、県内外の企業からの機能性食品に関する共同研究・分析依頼等を含む問い合わせや、研究者からの相談に対応いたしました。

また、昨年度より継続しておりました株式会社越後薬草及び新潟薬科大学との三者共同研究事業については継続事業として今年度も進めてまいりました。しかし、本研究事業は今年度をもって当社の参画は終了となります。

○ 新潟市健幸づくり応援食品認定制度支援

昨年度同様「新潟市の健幸づくり応援食品認定制度」の申請に係る相談窓口を展開し、技術的な相談内容に対応いたしました。また、新潟市農業活性化研究センターの依頼で農業生産者向け生鮮食品に係る当該認定制度の紹介動画を作成し、認定制度のPRにも貢献しました。

そのほか、中小企業からの機能性食品の開発や表示に関する相談があった場合においても、「健幸づくり応援食品認定制度」を紹介いたしました。

○ 広報関連業務における支援事業

昨年度よりスタートした新潟薬科大学の広報に関する業務のサポート事業については、主にオープンキャンパスや入試に関する動画広告の出稿およびそれに伴う動画の企画・制作の広報活動を予定通り実施いたしました。

② 機能性食品評価事業（食品臨床試験）

○ FHCT-2023-01G 試験（I社）

クライアント様主導により、製品の「長期摂取が血糖値に及ぼす影響の検証」のヒト介入試験を実施しましたが、対象となる空腹時血糖値の境界型の被験者の確保ができず、試験は、中止となりました。

○ 臨床研究支援

新潟大学の臨床研究支援事業として、試験対象者10名の健常者を集め、事前の説明や被験者情報の獲得等を行い、目標の人数を確保し、情報の提供をしました。

○ 試験データの整理

H社の依頼で、医療機関で実施した臨床試験の生データをもとに、統計解析をし報告書として

まとめました。

○ 分析支援業務

S社、T社、新潟市農業活性化研究センターより、細菌検査・急性毒性試験・栄養成分分析等を受託し対応しました。

③ 食品安全支援事業

今年度は、株式会社越後薬草および新潟薬科大学との共同研究事業の一環として HACCP コーディネート作業を行ってまいりました。なお、今年度で本共同研究事業終了とともに HACCP のコーディネート作業は終了となります。

④ NBRP 会員事業

今年度末の会員数は、22社、会費収入は、981,828円となりました。また、年度後半よりメールマガジンをリニューアルし、健康情報や食品業界などのトピックス、無料のwebセミナー情報、インフルエンザおよびCOVID-19の感染情報など、月1回ずつ配信を行いました。次年度以降もメールマガジンの内容の充実を図るとともに、新たなアプローチを検討して参ります。

(2) 当社の対処すべき課題

今年度、資金面では債務超過の状態となっており、そのため増資による資金調達を年度中におこない債務超過を解消することができました。このことにより、来年度の新潟市バイオリサーチセンター指定管理の入札参加を目指します。また経営体制については、当社の経営基盤である「機能性食品評価事業」の売上拡大が安定経営に繋がるポイントであるため、従来の「依頼待ち体質」から積極的な開拓営業活動を充実するように組織を組みたいと思います。

そこで以下の項目を進めてまいります。

- 株主であるブルボン社のご厚意により、新潟大学（旭町）内の「ブルボン健康科学研究所 オープンイノベーションセンター」にてBRPの営業拠点を設置します。
- 新潟に在住で、当社の活動に積極的参加が見込める専門家との協力体制を構築し以前のように活動を活発化させていきます。
- ボランティアバンクの拡充を図ります（試験実施の上で肝となる被験者のバンクを強化する）。
- 臨床試験実施施設の拡充を図ることで、数多く試験をこなせる実施体制を目指します。
- 試験実施に必要な作業のアウトソーシング機関との提携を図ります。

以上